

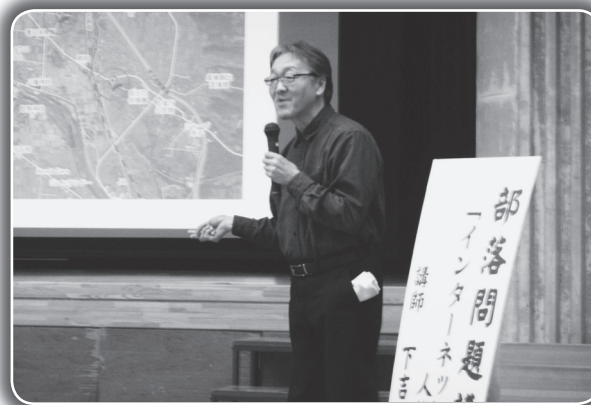


部落問題講演会より

3月11日、総合センターで部落問題講演会が開催されました。急増するインターネット上での差別書き込みの実態に迫りました。

演題  
「インターネットと人権」

講師  
倉吉市人権センター所長  
下吉 真二さん

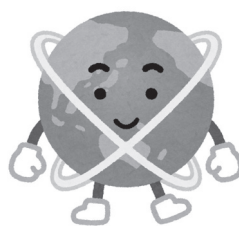


インターネット上の  
差別書き込み

差別には様々な形態がありますが、近年特にインターネット上での差別書き込みが増加しています。その中には何度削除依頼しても未だに消えない書き込みもあるのです。こうした犯行は、被害者本人の知らないうちにネット上で行われ、最近はYouTubeといったSNSに差別書き込みを投稿する人もいます。



現在のネットを利用した社会環境は誰でも差別・人権侵害の被害者になる確率が極めて高いと言えるでしょう。しかし、こうした書き込みに対して恐れるだけではなく、現状を把握した上で差別に立ち向かっていく必要があるのです。



職員等

人権同和問題研修開催

演題

「失語症から学ぶコミュニケーションの大切さ」

講師

言語聴覚士  
横田 嘉子さん

3月24日に職員を始め人権に関わる方を対象に研修を行いました。

失語症はただ話せなくなるだけの病気ではありません。聞いて理解することの困難、言い間違えのしやすさといった様々な症状を含みます。研修では実際にコミュニケーションをとる練習などを行いました。

私たちに出来ることは、失語症の症状を理解し、人と話す機会、外出の機会を増やすなど、地域や社会全体で支えることだと気づくことが出来た研修でした。